はとの子だより

No.5 令和7年8月29日(金)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

いつもとちょっと違った世界から帰ってきて ～2学期始業式～

暦の上ではとっく過ぎ去ったはずの夏ですが、まだまだ暑い日々が続いています。その暑さを吹き飛ばすように、子どもたちの笑顔が校舎中に広がりました。

熱中症の警戒レベルが高かったことから、始業式はやむを得ず校内放送での実施となりました。一学期や夏休みの思い出と2学期の目標を発表してくれた3名の代表児童のお話は、自分の好きなことや頑張りたいことへの熱い思いが、校内放送の画面からもはっきり伝わる内容でした。

1年生の徳光雫さんは、一学期に仮学級のいちよう組から本学級のA組に入るまでの間に、友達ができるきっかけとなった経験をととても大切にしていました。「ともだちになってくれる？」という真っ直ぐな気持ちと言葉から、いちよう組とA組の友達の輪が広がっていることに安心感を得られたようです。

3年生の多賀系翔大さんは、ブレイキンの大会で準優勝し、仲間とのバトルを約束したり観ている人の心を動かす楽しいダンスを目標に定めたりしたこと、水泳のタイムを縮めるために、きつくても我慢する意識をお父さんから教わったこと、お父さんの勤務先である北海道の広大な自然に触れ、農家の人の仕事ぶりに興味をもったことなど、夏休みの思い出を3つも紹介してくれました。

5年生の高橋結菜さんは、旅行で訪れた北海道が、外国人観光客で賑わっている様子を見て、様々な国の人々と外国語でコミュニケーションをとることへの憧れの気持ちが高まったようでした。また、新体操の大会に出場し、リーダーとして仲間をまとめるという大役を、先輩たちが声を掛けてくれて手助けしてくれたことで務めることができたそうです。この経験を通して学んだことを、技術面でも精神面でも次に生かしたいという抱負を語っていました。

3人とも、1学期や夏休み中の、他ではあまり味わうことがない経験を通して、学校生活や家庭・地域での生活に何を、どのように役立てようと考えているか、とても具体的ではっきりと見通しています。長期休みに「いつもとちょっと違った世界を見て体験する」ことの意義は、こういうところにあるのだな、と改めて実感しました。

今日あなたは空を見上げましたか。
空は遠かったですか、近かったですか。
雲はどんな形をしていましたか。
風はどんなにおいぎましたか。
あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。
「ありがとう」という言葉を今日口にしましたか。

佐々木雅子校長先生からは、長田弘作・いせひでこ絵の『最初の質問』から詩の一部を引用されながら、自然を五感で感じ取ることの大切さについてお話がありました。

「自然を感じることは、素直に人の気持ちを感じることにつながり、学ぶことの喜びを感じることもつながります。人は自然の一部です。その感覚を大事にしてください。きっと自分の中の何かが芽を出し、幹が育ち、枝が伸び、葉を茂らせ、人として大事な実を結んでいくものと期待します。」

全てのはとの子が、人や自然、地域社会が発する感情や情報を、感受性豊かに受け止め、共感し、自分を育てていけるような感性を磨く2学期となることに期待しています。

夏の終わりを彩る温かな灯火 ～附小夏祭り～

夏休み最終日の午後、6年生が企画・運営する文化祭企画の第1弾「附小夏祭り」が開催されました。5年生の国語の時間に仮想文化祭の企画を提案する学習が発端となって開催された夏祭りです。6年生になってもその熱が冷めず、「はばたき学習（総合的な学習の時間）」の中で企画が熟成されて実現しました。長期に渡る企画・準備が現実のものとなった6年生にとっては、感慨もひとしおだったのではないのでしょうか。

当日は予想を遙かに上回る600人超のお客さんがいらっしやり、特に「お化け屋敷」企画を担当した子どもたちにとっては、嬉しい悲鳴が上がっておりました。状況に応じた臨機応変の対応力はもとより、あらゆる事態を想定した計画立案の大切さも痛感できたことは、今後の文化祭企画にも生きて働くのではないのでしょうか。

薄暮の中に揺れる小若の竿燈は、豊島町竿燈会の皆様からの善意でお借りしました。4～6年生の有志による演技と演奏は、とても見応えがありました。夜のグラウンドに瞬いた線香花火は、株

式会社アウトクロップさんを通じて「筒井時正玩具花火製造所」（福岡県）から日本で唯一の国産花火をご提供いただきました。

子どもたち、保護者や地域の皆様ら多くの人々の夏への惜別の思いが、小さいけれどたくさんの灯火となってグラウンドで揺れているように感じました。夏の最後に、素敵な思い出を作ってくれた全ての方々に感謝申し上げます。

11月には、文化祭企画第2弾として、「はとの子学習発表会」の午後に、「はとの子文化祭」を開催する予定です。こちらもたくさんの楽しい企画を準備中ですので、ぜひまたご参加いただきたいと思います。夏休み最終日にも関わらずご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。